

**WISENET**

# ネットワークビデオデコーダー

## 取扱説明書

SPD-150



## ネットワークビデオデコーダー 取扱説明書

---

**Copyright**  
©2017 Hanuha Technin Co., Ltd. All rights reserved.

**Trademark**  
本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

**制約について**  
本書の著作権は留保されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

**免責事項について**  
Hanuha Technin は取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。

この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うこととなります。本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしに変更されることがあります。

◆ 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

◆ 初期の管理者IDは「admin」です。初回ログイン時にパスワードを設定する必要があります。  
個人情報や安全に保護し、情報漏洩の被害を防ぐため、3か月毎にID/パスワードを変更してください。  
パスワードの管理ミスによるセキュリティ及びその他の問題は、ユーザー側の責任となりますことを御了承ください。

# 概要

## 重要な安全ガイド

この製品を適正に使用し、リスクやダメージを防ぐため、以下の注意事項に留意してください。

### 警告/注意

 <b>警告</b> 重度のケガ、死亡する危険性がある内容です。	 <b>注意</b> 装置を損傷したり軽度のケガを負ったりする危険性がある内容です。
---	---

### 警告

- 1つコンソントに複数の電源コードを接続（タコ足接続）しないでください。火災の原因となります。
- 製品の上に水または他の液体が入った容器を置かないでください。製品の故障及び火災の原因となります。
- 電源コードを無理やり曲げたり、重いものに押さえられ破損しないようにしてください。火災の原因となります。
- 製品のカバーを開けないでください。また、分解・修理・改造しないでください。異常作動による火災・感電・傷害の危険があります。
- 湿気や誇りが多い環境に設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを過剰に強く引っ張らないでください。また、濡れた手で触らないでください。火災・感電の危険があります。
- 製品の設置環境を誇りがないように綺麗にしてクリーニングには乾燥した柔らかい布を使用し、水、シンナーあるいは有機溶剤を使用しないでください。製品の表面をキズ付け恐れがあるし、故障・感電の危険があります。
- ラジエーター、熱レジスタ、あるいは熱を発生する他の装置（アンプを含む）など熱源の近くに設置しないで下さい。火災の危険があります。
- 電源ケーブル及び外部入出力ポートが突出されてありますので製品を壁に近く設置するとケーブルが曲がったり押さえられ破損及び断線する恐れがあります。壁から製品の背面は15cm以上、側面は5cm以上離れて設置してください。
- 本製品の動作のための入力電圧は電圧変動範囲が規定電圧の10%以内であるべきで電源コンソントは必ず接地になっていなければなりません。
- 柔らかく乾いた布が湿った布で製品表面の汚れた部分を拭き取ります。（アルコール成分、溶剤、界面活性剤や油分を含む洗剤や化粧品を使用しないでください。製品の変形や損傷につながる恐れがあります。）
- 本製品は「クラス2(Class 2)」または「LPS」のマークがあり、定格12 Vdc、最小電流1.8 Aの規格認定取得済みの電源ユニットにより電気供給が行われるものとします。
- IEEE 802-3afに準拠してイーサネット(PoE)に電力を供給する有線LAN/ハブは、UL規格認定取得済みデバイスであり、出力は、UL60950-1に定義される通り規格認定取得済み電源として評価されているものとします。
- 付随するイーサネットワイヤリングは建造物内部に限られます。

### 注意

- 強い磁性や電波がある場所ラジオ・TVなどの無線機器の隣接した場所は設置を避けてください。
- 製品の上に重い物を置かないでください。また、内部に異質物が入らないようにしてください。
- 換気がいいところに設置して直射日光や熱にさらさないでください。
- 製品は必ず安定した平らな場所に設置して垂直及び斜めにしては使用しないでください。
- 強い衝撃及び振動は機器故障の原因になりますので使用時注意してください。
- 異常な音または臭いがする場合は直ちに電源を切って販売店に問い合わせてください。
- システムの性能を維持するためには販売店に依頼して定期的な点検をしてください。
- 必ず接地されたコンソントに電源ケーブルを連結してください。

## ご使用前に

このマニュアルでは、製品を使用するために必要な操作情報を記載しており、各部品の詳細とその機能、およびメニューとネットワークの設定について説明します。

以下の点に留意してください：

- 本取扱説明書の著作権は、Hanwha Techwin 社が保持しています。
- 本取扱説明書は、事前にHanwha Techwin 社の許可がない限り複製できません。
- 標準的ではない製品の使用や、本取扱説明書に記載されている指示への違反により発生した製品への損害については当社は一切責任を負いません。
- 問題を確認するためにシステムのケースを開けたい場合は、本製品を購入した販売店の専門家に相談してください。

### 電池 (△ 警告)

本製品の電池を不適切なものに交換すると爆発の原因になりますので必ず本製品に使用されているものと同じ種類の電池を使用してください。現在、使用している電池の仕様は以下の通りです。

- 正規電圧 : 3V
- 正規容量 : 210mAh
- 標準連続負荷 : 0.4mA
- 動作温度 : -20°C ~ +60°C (-4°F ~ +140°F)

### 注意

- 電源コードをアース端子付きのコンソントに接続します。
- メインプラグは切断装置として使用され、いつでも利用可能になります。
- バッテリーは直射日光の当たる場所や、熱器具の近くには置かないでください。
- 指定されていないタイプの電池に交換すると、爆発の原因になる恐れがあります。使用済電池は説明書に従って廃棄してください。

# 概要

---

## 動作温度

本製品の保証動作温度範囲は、0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) です。  
保証温度以下で長期間保管された場合は、使用時機器が動作しない可能性があります。  
低温で長期間保管した後を使用する際は、本製品をしばらく室温に置いてから使用してください。

## セキュリティに関する注意事項

初期の管理者IDは「admin」です。初回ログイン時にパスワードを設定する必要があります。  
個人情報を安全に保護し、情報窃盗の被害を防ぐため、3か月に1回パスワードを変更してください。  
パスワードの管理ミスによるセキュリティ及びその他の問題は、ユーザー側の責任となりますことを御了承ください。

## 目次

<b>第1章</b>	3	重要な安全ガイド
概要	3	ご使用前の前に
	5	目次
	6	特徴
	7	各部の名称と機能 (前面)
	7	各部の名称と機能 (背面)
<b>第2章</b>	8	外部デバイスへの接続
他のデバイスとの接続	8	USBの接続
	8	イーサネット接続
	8	電源接続
	9	アース線接続
	9	ネットワークへの接続
<b>第3章</b>	10	はじめに
ライブ	11	ライブ画面構成
	13	ライブ画面モード
	14	音声オン/オフ
	15	レイアウト設定
	15	ランチャーの設定
	15	BNCレイアウト設定

<b>第4章</b>	17	システム設定
メニュー設定	21	デバイスの設定
	24	ネットワーク設定

<b>第5章</b>	26	製品仕様
付録	27	外観図
	27	デフォルト設定
	28	トラブルシューティング
	29	Open Source License Report on the Product

# 概要

## 特徴

本製品はネットワークカメラが保存したビデオと音声を再生することができます。

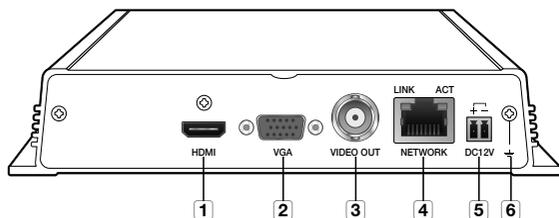
- 使いやすいユーザーインターフェース
- さまざまな4Kカメラ解像度をサポート (3840X2160、4096X2160、4000X3000)
- HDMIを使用し4K HD画像を出力
- ONVIF Profile S規格およびRTSP / RTSPプロトコルのサポート
- 49チャンネル同時出力(HDMI：32チャンネル、VGA：16チャンネル、BNC：1チャンネル)
- インストールウィザード機能 (簡単設定)

## パッケージ内容

製品の梱包を解いて平らな場所または設置場所に置いてください。  
本体以外に、以下の付属品がパッケージに梱包されていることを確認してください。

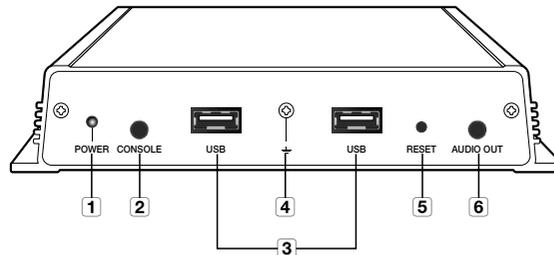
		
Decoder	マウス	取扱説明書CD
		
取扱説明書又はクイックマニュアル	端子台	タッピンねじ
		
プラスチックアンカー		

## 各部の名称と機能 (前面)



部品名	機能
1 HDMI	HDMI映像出力ポート。
2 VGA	VGA映像出力ポート。
3 VIDEO OUT	これはビデオを表示するBNC端子です。
4 NETWORK	これはイーサネットケーブルを接続する端子です。 * 電源入力は、PoEを使用します。(PoE電源仕様については、「製品仕様」を参照してください)
5 DC12V	これは指定の電源を接続する端子です。
6 アース接続	別のアースケーブルと接続する端子。 * アースケーブルを追加し、デバイスの安全使用をサポートします。

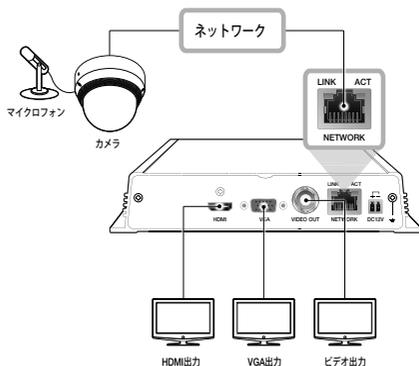
## 各部の名称と機能 (背面)



部品名	機能
1 POWER	LEDにより、ON/OFFステータスを表示します。 - 通常動作：LED ON - 異常動作：LED OFF
2 CONSOLE	[CONSOLE]は修理目的のみで設計されています。
3 USB	USBデバイスを接続します。
4 アース接続	別のアースケーブルと接続する端子。 * アースケーブルを追加し、デバイスの安全使用をサポートします。
5 RESET	このボタンは、パスワードを忘れた場合にデバイスを初期化する際に使用できます。 このボタンをおよそ10秒間長押しすると、パスワード初期化のポップアップウィンドウが立ち上がり、パスワードをリセットするよう促します。
6 AUDIO OUT	これはボイスシグナル出力用端子です(3.5 mm)。

# 他のデバイスとの接続

## 外部デバイスへの接続

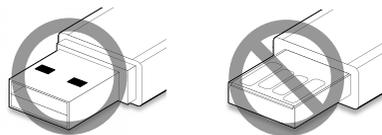


- 1 ■ 定格外または不適切な電源を使用するとシステムが損傷する場合があります。電源ボタンを押す前に、定格電源を使用していることを確認してください。

## USBの接続

1. USBメモリーまたはマウスをUSBポートに接続することができます。
2. この製品にはホットプラグ機能がサポートされているため、システム動作中にUSBデバイスの接続と取外しが可能です。

- 1 ■ USBデバイスによっては互換性の問題で正常動作しない可能性がありますので、事前確認をお願いいたします。
- 規格品（メタルカバータイプ）USBデバイス以外には動作保証は出来ません。
  - USBコネクタの磨耗によってUSB信号の読取が悪くなる可能性があります。

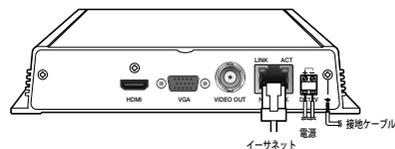


## 8\_他のデバイスとの接続

## イーサネット接続

イーサネットケーブルを接続し、ローカルネットワークまたはインターネットに接続します。PoEスイッチから個別に電力供給を行うことで、電源アダプターなしで接続することができます。

- PoE電源仕様については、「製品仕様」を参照してください。(28ページ)



## 電源接続

通常のイーサネットケーブルを使用する場合、電源供給用の電源アダプターに接続します。電源アダプターの(+、-)ワイヤーを、ドライバーを使用して、ネットワークビデオエンコーダーの電力入力端子に接続します。

- 1 ■ PoEとDC12Vの電源を同時に使用すると、デバイスは外部電源で動作します(DC12V)。
- PoE機能のあるルーターを使用して接続する場合は、外部電源は不要です。
  - PoEはIEEE 802.3afと互換性がなければなりません。
- DC 12Vには極性があるため、接続する際は注意してください。
- 外部デバイスを接続する場合、まずデバイスの電源をオフにしなければなりません。
  - セットとアダプターの電源ケーブルを最初に接続し、次に定格220Vの壁コンセントに差し込みます。
  - アダプター出力ケーブルは延長して使用しないでください。
  - 電源ケーブルを延長する必要がある場合は、サービスセンターにお問い合わせください。

## それぞれのモデルの電源ケーブル仕様

入力電源	ワイヤタイプ(AWG)	ケーブル長(最長)
DC 12V	#18	19m
	#16	30m

## アース線接続

ドライバーを使用して、電源入力端子の右横で、アース線をFGねじに接続します。

- ❗ 接地により、落雷による損傷から製品を保護します。
- 接続するときは、デバイスの電源を必ずオフにします。

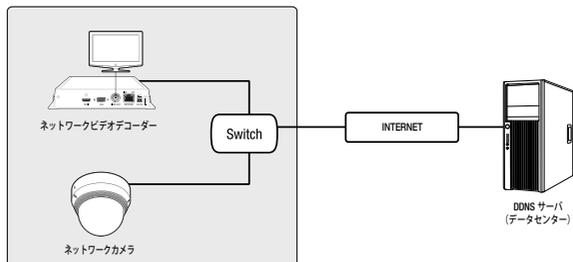
### アース線の推奨仕様

- 長さ：最長3M
- 厚さ：18AWG以上  
例) UL1007 AWG18/16、UL1015 AWG18/16/14/12、UL2468 AWG18/16/14

## ネットワークへの接続

- 🔗 ❷ ネットワーク接続の詳細については、「ネットワーク設定」を参照してください。(24ページ)

### ネットワークビデオデコーダーの取付け方法



# ライブ

## はじめに

### 起動

1. デコーダーを電源に接続します。
2. アイコンが表示される順番で、初期化処理が進みます。
3. ステップ3が終わると、ライブスクリーンが現れます。



4. <日付/時刻> で日付/時刻を設定した後、<完了> ボタンをクリックし、設定完了ウィンドウを開きます。



## インストールウィザード

下記に示されているように、<インストールウィザード>の各手順に従って進めてください。

1. <言語> 画面で、言語を選択し、<次へ> ボタンを選択します。
  2. <ID/パスワード> 画面で、パスワードを設定し、<次へ> を押します。
  3. <ネットワーク> 画面で、ネットワークアクセス方法とアクセス環境を設定します。シンプルイントラネットを使用する場合、<次へ>をクリックします。
    - ネットワーク (カメラ): カメラに接続し、カメラからビデオフィードを受信します。
    - ネットワーク設定
      - IPタイプ: ネットワーク接続方法を選択します。
      - IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS
- LANケーブルがポートに接続されていない場合、設定ボタンは有効化されません。LANケーブルコネクションをチェックします。
- ネットワーク設定について詳しくは、ユーザーマニュアルをご参照ください。



## シャットダウン

1. ライブ画面メニューで<シャットダウン>を選択します。
2. "シャットダウン"確認ポップアップウィンドウが表示されます。
3. <OK>をクリックします。  
システムがシャットダウンされます。

-  ■ システムをシャットダウンできるのは、「シャットダウン」権限を持ったユーザーのみです。
- 権限管理については、「ユーザー」>「権限の設定」を参照してください。(18ページ)



## ログイン

Decoderメニューを使用するには、当該メニューにアクセスする権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

1. ライブモード画面上でマウス右ボタンをクリックします。  
右図のようなライブ画面メニューが表示されます。
2. <ログイン>を選択します。  
ログイン画面が表示されます。

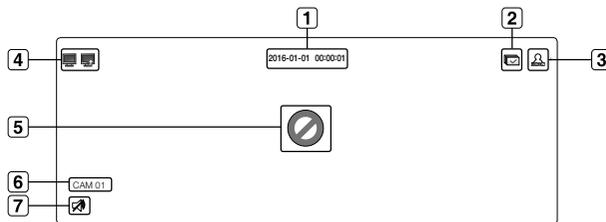
-  ■ 権限管理については、「ユーザー」>「権限の設定」を参照してください。(18ページ)



## ライブ画面構成

### ライブ画面上のアイコン

ライブ画面上のアイコン表示でDecoderの状態や動作を確認することができます。



名前		説明
1	現在日付、時刻	現在の日付と時刻が表示されます。
2	画面状態モード	設定された時間間隔で全チャンネルがシーケンスモードのときに表示されます。
3	ログイン情報	ログインすると、「LOG ON」アイコンが表示されます。
4	システム状況表示	ネットワーク過負荷のときに表示されます。 ■ 最大受信容量を超過してCPUに過負荷が発生した場合に表示されます。そのときはカメラ設定を修正したり、カメラを削除してパフォーマンス負荷を軽減した場合、表示の消えます。
		サーバーに更新するファームウェアがあるときに表示されます。
5	映像入力状態表示	カメラが<オン>に設定されている状態が入力がない場合に表示されます。
		カメラが<オン>になった状態でライブ画像をサポートする解像度を越えたとき、表示されます。
		サポートされないチャンネルを表示します。(36分割で32チャンネルのビデオを表示します)  カメラが<オフ>の場合又は登録されているカメラがない場合或いは<Covert2>モードの場合、画面上には何も表示されません。 カメラが<Covert1>に設定されている場合、映像は表示されませんが、OSDメニューは表示されます。
6	カメラタイトル/チャンネル	カメラタイトルとチャンネル番号を表示します。
7	カメラ状態表示	音声オン/オフ状態が表示されます。無効にした場合、映像モードでは表示されません。

# ライブ

## ライブ画面メニュー

ライブ画面モードでマウス右ボタンをクリックすると、ライブ画面メニューが開き、各メニューにアクセスできます。

ライブ画面メニューはログイン/アウトの状態、分割モード、およびDecoder操作状態により異なります。

## シングルモードメニュー

シングルモードメニューは、シングルモードでのみ使用できます。



<シングルモードメニュー>

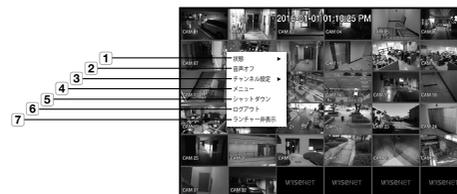


<分割画面内の1チャンネル選択メニュー>

メニュー	説明
1 全画面	分割モードの該当するチャンネルを選択してクリックすると、選択したチャンネルの全画面に切り替わります。

## 分割モードメニュー

ライブ分割モードで右クリックすると次のようなメニューが表示されます。分割モードでのメニューは、ログイン/ログアウトの状態によって異なります。



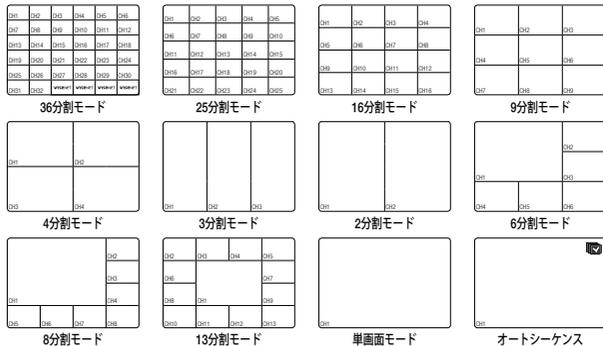
メニュー	説明
1 状態	それぞれのチャンネルに接続されるカメラの接続情報とライブステータスを表示します。*状態を確認してください。(13ページ)
2 音声オン/オフ	選択したチャンネルの音声をオンまたはオフします。 *音声オン/オフを参照してください。(14ページ)
3 チャンネル設定	チャンネル設定:単一チャンネルまたは複数チャンネルを選択し、それぞれのチャンネルの設定を変更します。 *チャンネル設定を参照してください。(14ページ)
4 メニュー	メインメニューに入ります。メニュー設定を御参照ください。(17ページ)
5 ショットダウン	システムショットダウンダイアログが表示されます。
6 ログイン/ログアウト	ログインまたはログアウトを行います。
7 ランチャー表示/非表示	ランチャーを表示または非表示にします。

## ライブ画面モード

64個までのライブ映像を、シングルモード、10種類の分割モードまたはオートシーケンスモードで表示することができます。

### 画面モードの表示方法

分割モードを変更する場合は、レイアウト設定で「分割モード」を選択してください。



## 状態

ライブスクリーンのそれぞれのチャンネルに接続されたカメラの接続情報を確認できます。

### チャンネル情報

ライブスクリーンの<状態>メニューの<CH情報>を選択すると、現在モニタリング中のライブスクリーン上に、音信映像の情報が出力されます。

- 🔍 ■ モデル名の横にマークのついた文字は、カメラ登録時に使用されるプロトコルを示します。
  - ・ SおよびVはSamsungプロトコルを、OはONVIF、RはRTSPを示します。
- ❗ ■ RTSPやIPv6を経由して接続する場合、IPアドレスは表示されません。



## 接続

ライブスクリーンの<状態>メニューの<接続>を選択すると、それぞれのチャンネルに接続されたカメラの接続状態を確認できます。

- 🔍 ■ カメラ接続エラーについての詳細は、「カメラ登録」エラーコードガイドを参照してください。(21ページ)



## ライブステータス

ライブスクリーンの<状態>メニューの<ライブ>を選択すると、それぞれのチャンネルに接続されたカメラの伝送情報とステータスを確認できます。



- モデル: 各チャンネルに接続されているカメラのモデル名を表示します。
- 状態: 各チャンネルに設定されたカメラ接続の状況を表示します。
- IPアドレス: 各チャンネルに設定されたカメラのIPアドレスを表示します。
- コーデック: 各チャンネルに設定されたカメラのライブプロファイルコーデック情報を表示します。
- 解像度: 各チャンネルに設定されたカメラのライブプロファイル解像度を表示します。
- フレームレート: 各チャンネルに設定されたカメラのライブプロファイル送信速度を表示します。

# ライブ

## 音声オン/オフ

ライブモードのチャンネルごとに、音声のオン/オフを切り替えることができます。

### シングルモードの音声オン/オフ

画面上のオーディオアイコン(🔊)をクリックし、オン又はオフにします。

- 出力設定が正しく構成されているものの音が出ない場合、接続中のネットワークカメラがオーディオ機能をサポートしていることを確認し、オーディオ設定が正しく行われていることをチェックしてください。  
音声アイコンは、音声信号がノイズにより出力できない場合でも表示されます。
- 'デバイスの設定>カメラ'で'オーディオ'が'オン'に設定されているチャンネルでのみ、ライブモードで音声のオン/オフに使用できる音声アイコン(🔊)が表示されます。

## チャンネルの設定

登録チャンネルのビデオを確認している間、チャンネル名を保存されたビデオに適切な名前に変更し  
ます。

- 各チャンネルのカメラ名にカーソルを合わせると、画面の右側に<▼>キーが表示されます。
- カメラ名をクリックしてチャンネルリストを表示し、他のチャンネルを選択することができます。
- 該当するチャンネルを選択し、クリックします。  
現在のチャンネルが選択したチャンネルに切り替わります。  
カーソルを使用して移動するチャンネルを選択し、指定のチャンネルにドラッグアンドドロップします。  
この方法で、チャンネルの位置を変更することもできます。

■ 例: CH 1をCH 7に切り替える場合

CH1	CH2	CH3	CH4
CH5	CH6	CH7	CH8
CH9	CH10	CH11	CH12
CH13	CH14	CH15	CH16

→

CH7	CH2	CH3	CH4
CH5	CH6	CH1	CH8
CH9	CH10	CH11	CH12
CH13	CH14	CH15	CH16

### シングルモードへの切替

分割モードの場合、該当するチャンネルを選択してダブルクリックすると、シングルモードに切り替わります。

■ 例: CH3をダブルクリックした場合。

CH1	CH2	CH3	CH4
CH5	CH6	CH7	CH8
CH9	CH10	CH11	CH12
CH13	CH14	CH15	CH16

→

CH3
-----

## ① 単一チャンネルの名前変更

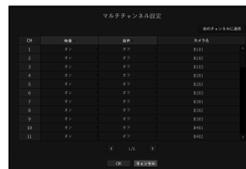
ライブスクリーンの<チャンネル設定>メニューを選択し、<シングルチャンネル変更>をクリックしてチャンネル名を変更します。

■ '仮想キーボードの使用'を参照してください。(17ページ)



## ② 多重チャンネルの設定

チャンネルごとに、ビデオ関連事項を設定することができます。



• ライブで変更するチャンネルを選択し、<マルチチャンネル設定>に移動すると、フォーカスがビデオに切り替わります。  
選択したビデオを参照して、一括して関連情報を変更することができます。

■ 設定に関する詳細事項は'チャンネル設定'を参照してください。(23ページ)

## レイアウト設定

それぞれのチャンネルのレイアウトをライブスクリーンから設定できます。



- 1 ライブ画面で、単一チャンネルまたは多重チャンネル設定を用いてビデオに関連するチャンネル名を指定します。  
\*チャンネル設定\*を参照してください。
- 2 起動時にレイアウト設定画面が動作します。
- 3 分割画面モードとチャンネル名を構成して、レイアウトを設定します。  
所望の複数レイアウトを同時に設定することができます。
- 4 設定後、レイアウトを変更しながら確認し、適切な順序でマウスをクリックしながら、チャンネルの順序を変更します。
- 6 シーケンス設定時間の連続順序で、レイアウトごとにライブスクリーンを再生します。
  - レイアウト設定ウィンドウで<レイアウトシーケンスを使用>を確認し、シーケンス変換時間を設定します。

## ランチャーの設定

ライブスクリーンの下部にあるランチャーメニューを使用して、ビデオ出力レイアウトを設定することができます。

1. ライブ画面メニューから<ビューランチャー>を選択します。
2. 画面下部にあるランチャーメニューをクリックし、直接メニューに入ります。



- 10秒間入力操作が行われないと、表示されなくなります。
- ランチャーメニューはクリックのみ選択することができます。

- **Layout 01** : 設定するレイアウトの中から、画面に表示するレイアウトを選択します。  
これは、HDMI/VGAレイアウト設定ページから追加されたレイアウトリストパッチです。変更すると、変わります。
- **CAM 01** : BNCレイアウトで登録したカメラのリストが表示され、それらのカメラのみを選択することができます。
- : それぞれのチャンネルレイアウトを設定し、変更し、または削除します。
- : シーケンスの起動。

## HDMI/VGAレイアウト設定

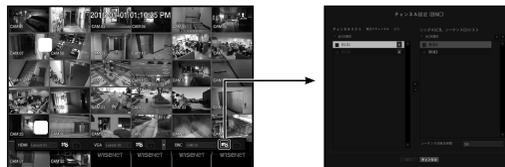
ユーザーのニーズに応じてチャンネルを束ね、必要ときにすぐに確認できるようにします。



1. < >を選択します。  
レイアウト設定ウィンドウが表示されます。
  - 新規: 新しいレイアウトを設定することができます。
  - 名前の変更: 設定するレイアウトを選択し、名前を変更します。
  - インポート: すでに設定したレイアウトリスト (HDMI, VGA) からレイアウトを選択し、インポートします。
  - 削除: 過去に設定したレイアウトを削除することができます。
  - レイアウトシーケンスを使用: レイアウトシーケンスを使用するかどうかを選択します。
  - シーケンス切替時間: レイアウト分割画面を自動的に変換する時間を設定します。
  - 分割モード: レイアウトモードから分割モードを選択します。
    - VGAレイアウトでは最大16分割をサポートします。ただし、25と36分割のレイアウトは、レイアウトリストをインポートする間HDMIレイアウトリストから除外されます。
    - < >は単一チャンネルシーケンスです。ライブランチャーのレイアウトシーケンス操作から除外されます。
    - **レイアウトシーケンスを使用**: ライブランチャーシーケンスはレイアウトシーケンスです。レイアウト設定ページでのシーケンスの使用と選択に含まれます。
  - チャンネル選択: レイアウトを構成するチャンネルを選択します。
    - 画面右側のレイアウトから選択したチャンネルをドラッグして、チャンネルを移動させます。
2. <保存>を押して設定したレイアウトを保存します。
  - VGAレイアウト**と設定は、\*デバイス>モニター>エキスパンド\*からアクセスすることができます。

## BNCレイアウト設定

BNCシーケンスは選択したチャンネルから操作できます。

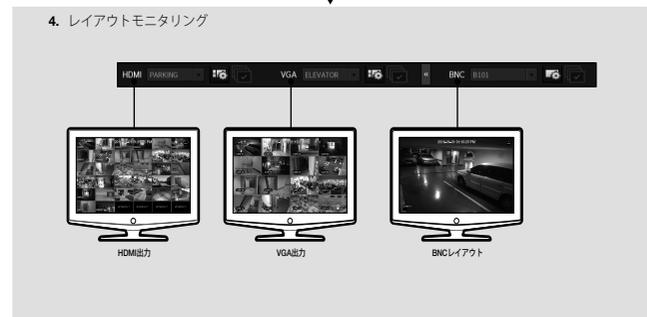
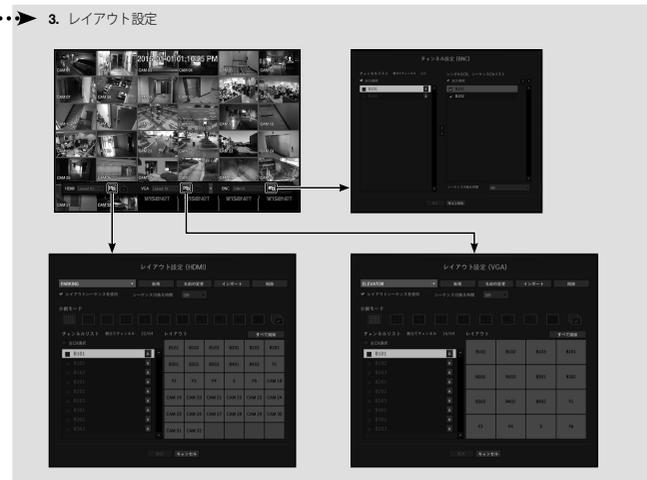
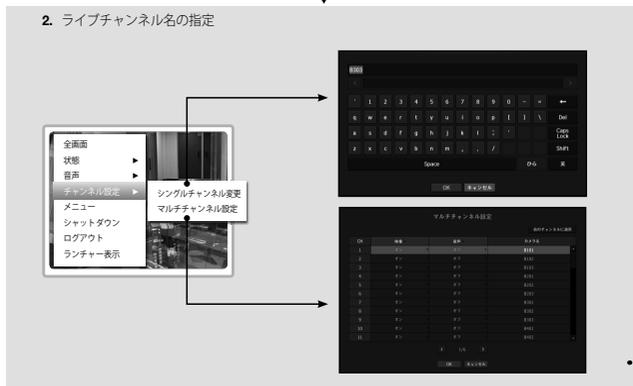


- BNCチャンネルとシーケンス**は、設定の\*デバイス>モニター>BNC Output\*で<ON>を選択すると使用できます。

# ライブ

## ライブモニタリングの構成

- ☑ 設定の詳細についてはそれぞれのページを確認してください。
1. カメラ登録 (21ページ)
  2. ライブチャンネル名の指定 (14ページ)
  3. レイアウト設定 (15ページ)
  4. レイアウトモニタリング (15ページ)



# メニュー設定

システム環境、デバイス、ネットワークを設定することができます。

## システム設定

日付/時刻/言語、ユーザー、システムプロパティ、ログを設定できます。

### 日付/時刻/言語

#### 日付/時刻/言語の設定

現在の日付/時刻及び時刻に関連したプロパティ、並びに画面上的のインターフェース用に使用する言語を確認・設定できます。



- 日付：画面に表示される日付とその表示方式を設定します。
- 時間：画面に表示される時刻とその表示方式を設定します。
- 時間帯：グリニッジ標準時 (GMT) に基づき、お住まいの地域の標準時間帯を設定します。
  - GMT (グリニッジ標準時) は世界標準時で、世界各国の標準時間帯の基準となっています。
- 時刻同期：時刻サーバーとの同期を設定します。
  - <設定>ボタンをクリックし、同期設定画面を表示させます。
  - <時間サーバー>の使用を選択した場合、<時間サーバー>に定義されているサーバーにより、.現在時刻が定期的に同期されます。
  - この場合、時刻を手動で設定することはできません。
  - 同期：時刻サーバーとの同期の利用可否を設定します。
  - 時間サーバー：時刻サーバーのIPアドレス又はURLを入力します。
  - 前回同期時刻：選択した時刻サーバーからの前回同期した時刻を表示します。
- DST：サマータイムを期間つきで設定し、設定した期間中、各時間帯の標準時よりも時刻を1時間早めます。
- 言語：言語を選択します。インターフェース用の言語を設定します。  
英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語、ロシア語、韓国語、ポーランド語、日本語、オランダ語、ポルトガル語、トルコ語、スウェーデン語をサポートしています。

## ユーザー

Decoderの特定の機能及び設定に関して、ユーザーごとに権限を設定できます。

### 管理者の設定

管理者IDとパスワードを設定・変更できます。  
管理者はメニュー項目と機能をすべて使用・設定できます。



- ID：管理者IDを変更します。
- パスワード：現在のパスワードを確認します。
- 新規/パスワード：新しいパスワードを入力します。
- パスワードを確認：新しいパスワードを承認します。
  - <パスワードの表示>を選択すると、入力中のパスワードがスクリーン上に表示されるようになります。
- ☑ ■ 最初の管理者IDは"admin"に設定され、インストールウィザードのパスワードを設定する必要があります。
- 初期管理者IDは"admin"で、初めてログインするときにパスワードを設定する必要があります。
- 個人情報を安全に保護し、情報の盗難を防ぐため、パスワードは3か月ごとに変更してください。パスワードの管理の不備で発生したセキュリティ及びその他の問題は、ユーザーの責任となりますことを御注意ください。
- <OK>をクリックすると、パスワード設定の基本ガイドが表示されます。

### 仮想キーボードの使用



1. アルファベット入力用に、仮想キーボードウィンドウが表示されます。
2. マウスを使用し、希望の文字のタブをクリックします。
3. 上部のテキスト入力ボックスには、選択した文字を含む候補語の一覧が表示されます。
4. 一覧から単語を選択するか、キーボードを使用して全語を入力します。
  - 候補語が多数の場合、<左><右>ボタンを使用して、前後に移動します。
5. <OK>を選択します。  
入力した単語が適用されます。
  - 大文字を入力する場合、<Caps Lock>ボタンを使用します。
  - 特殊文字を入力する場合、<Shift>ボタンを使用します。
  - バーチャルキーボードを使用するのは、お住まいの地域で標準キーボードを使用するのと同じです。
  - IDに使えるのは、大・小英字と数字です。
  - パスワードはアルファベット文字と数字による8桁以上の組み合わせに必要があります。

日本語 \_17

# メニュー設定

## ユーザー設定

グループを作成し、各グループに対する権限を設定することができます。  
ユーザーを追加し、登録したユーザー情報を編集できます。



### グループを追加する場合

1. [ **A** ] ボタンをクリックし、グループ追加ポップアップウィンドウを開きます。  
グループを追加する場合、<OK>をクリックします。
2. グループ名の項目を押すとグループ名を入力する仮想キーボードが表示されます。  
登録するグループ名を入力します。
  - 最大10グループを登録可能です。

### グループ権限を設定する場合

各グループでアクセス可能な権限を設定します。  
各グループのユーザーは、チェックマークがついた項目にのみアクセスできます。

1. グループ権限を設定するメニューを選択します。  
グループに属するユーザーがログインした場合、アクセス許可のあるメニューが表示されます。
  - メニュー：アクセス可能な設定メニューを選択・設定できます。グループに属するユーザーは、選択されているメニューのみアクセスできます。メニューを選択すると、メニュー権限設定画面が表示されます。
  - シャットダウン：システム終了権限が付与されます。
2. <OK>をクリックします。  
選択した項目にアクセスする許可を与えるグループユーザーを確認します。

## ユーザーを登録する場合



1. [ **A** ] ボタンをクリックし、ユーザー追加ポップアップウィンドウを開きます。  
ユーザーを追加する場合、<OK>をクリックします。
2. グループを選択します。  
ユーザーを登録するとき、選択したグループに自動的に登録されます。
  - グループは、必要な情報をすべて入力した後に変更することができます。
3. 名前、ID、パスワードを入力します。
4. <OK>をクリックします。  
登録されたユーザー情報が保存されます。

### グループ及びユーザー情報を削除するとき

1. 削除する場合、[ **B** ] ボタンをクリックします。
2. 削除確認ウィンドウが表示され、削除する項目を選択して<削除>をクリックします。

## 権限の設定

自動ログアウト時間や、IDの手動入力を必須とするかどうかについて設定することができます。



- 自動ログアウト：ユーザーがログインした後、設定した時間内にDecoderの操作がない場合は自動的にログアウトします。
- IDの手動入力：ログインウィンドウで、IDを入力するかどうかを選択します。

## ユーザーにアクセス制限がかかっている場合

新しいグループに、全メニューへのアクセス制限がかかっている場合、そのグループに属するユーザーは、基本メニューにしかアクセスできず、個々のパスワードのみ変更が可能です。権限がすべて制限されていた場合、ライブ画面メニューもアクセス可能な一部のメニュー項目のみが見えます。



## ユーザーパスワードを変更するには

グループのアクセス制限のかかったユーザーアカウントでログインした場合、個人パスワードのみ変更可能です。



1. ログイン情報を提供します。
2. <ユーザーメニュー>を選択します。  
権限管理画面が表示されます。
3. <ユーザー>を選択します。  
パスワードダイアログが表示されます。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. <OK>を選択します。  
古いパスワードが新しいパスワードに変更されます。

## システム管理

現在のシステムバージョンを確認し、最新バージョンにアップグレードしたり、設定、バックアップ、または設定初期化を行うことができます。

## システム情報の確認

アップグレードを進める前に、現在のソフトウェアのバージョン及びMACアドレスを確認できます。



- システム情報：現在のシステム情報を表示します。  
設定値をユーザー側で変更することはできません。
- S/Wアップグレード：Decoderのソフトウェアを最新版に更新します。  
- <更新> ボタンを押し、アップグレードする装置を検索して表示します。
- デバイス名：これはデコーダーの名称です。

## 現在のS/Wバージョンをアップグレードするには



1. 最新バージョンのソフトウェアが保存されているデバイスを接続します。
  - デバイスを認識するまで約10秒程かかります。
  - アップグレード可能なデバイスには、USBメモリ及びネットワークです。
  - ネットワークがアップグレードされると、最新のデコーダーをネットワークに接続しなければなりません。プロキシサーバー経由のアップグレードは、アクセス制限が原因でできない場合があります。
2. <システム>ウィンドウから<システム管理>を選択します。
3. <システム情報>を選択します。

# メニュー設定

- 認識されたデバイスが表示されたら、<アップグレード>を選択します。
  - アップグレードメニューウィンドウ内のデバイスに接続すると、<OK>ボタンを押して利用可能なソフトウェアを検索できます。
  - ネットワーク上にアップグレードデータがあった場合、ポップアップウィンドウが表示されます。
  - <アップグレード>ボタンが有効になるのは、<システム情報>の<SWバージョン>が<SWアップグレード>と同じか、それよりも古い場合のみです。
- <SWアップグレード>ウィンドウ内の<OK>を押します。
  - 更新中、進捗が表示されます。
- 更新が完了すると、自動的に再起動します。再起動を完了するまでは電源を切らないでください。
  - <アップグレードに失敗しました。>が表示された場合、ステップ4から再試行してください。繰り返し失敗してしまうときは、販売代理店に問い合わせください。

## 設定

ストレージメディアを使用して、Decoder設定をコピーしたり、インポートしたりできます。



- 記憶装置：接続したストレージデバイスを表示します。
    - <OK>ボタンを押して、ストレージデバイスのリストを表示します。
    - フォーマット：接続されたUSBデバイスが初期化されます。
  - エクスポート：Decoder設定を、接続したストレージデバイスへエクスポートします。
  - インポート：ストレージデバイスからDecoder設定情報をインポートし、Decoderに適用します。
    - インポートしたい項目のチェックボックスをオフにします。選択した項目以外の項目は、Decoderに適用されます。
    - <エクスポート>および<インポート>設定は、同じソフトウェアバージョンで用いなければなりません。
  - 初期化設定：Decoderの工場出荷時の設定に復旧します。
    - リセットしたい項目のチェックボックスをオフにします。その後、選択した項目以外の項目のみ、工場出荷時に戻ります。
    - <初期化>を選択した場合、<初期化設定>の確認ダイアログが指示を出します。<OK>を押して、システムを工場出荷時の状態に初期化します。
- <権限設定>を初期化する場合、パスワードを再設定する必要があります。再起動の場合、インストールウィザードで再設定します。設定しない場合、ガイド画面で再設定します。

## ログ情報

システムに関連する記録情報を確認することができます。

## システムログの確認

システムログには、各システムのスタートアップ、システムシャットダウン及びシステム設定の変更に関するログとタイムスタンプが表示されます。



- 検索日付：カレンダーアイコンをクリックし、カレンダーウィンドウを表示させるか、方向ボタンを使用してシステムログの検索期間を指定します。
- 検索：日付を指定してからこのボタンを押し、ログ一覧に検索結果を表示させます。
- タイプ：ログが多すぎる場合は、タイプを選択することで、必要な内容のログのみを表示させることができます。
- フォーマット：接続されたUSBデバイスが初期化されます。
- エクスポート：Decoderに記録されているログ情報をすべて、保存用メディアに保存します。

## カレンダーを使う場合は



- 年と月を選択します。
  - 年月の左または右にある<左>、<右>キーを押して、1つずつ年または月を変更します。
- カレンダーの日付をクリックすると、日付が選択されます。
  - 検索できるデータのある日付は、グレーで表示されます。

## デバイスの設定

カメラやモニターに関連のあるコンテンツを設定することができます。

### カメラ

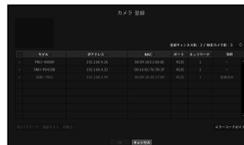
#### カメラを登録するには

ネットワークカメラを各チャンネルに登録して接続することができます。



- プレビュー：チャンネルの映像を現在の画像として見せません。
  - ONVFで検索したカメラはプレビューができません。
- プロトコル：登録したネットワークカメラのプロトコル情報を表示します。
- モデル：カメラのモデル名が表示されます。
- IPアドレス：ネットワークカメラのIPアドレスが表示されます。
- 接続：接続ステータスが表示されます。
- データ率：チャンネルから受信するデータの総容量が表示されます。
- エラーコードガイド：エラーコードの詳細を確認することができます。
  - 接続失敗：不明なエラーにより接続に失敗した場合
  - ID/PW認証失敗：カメラ登録時のIDまたはPWが正しくない場合
  - カメラのユーザー制限数超過：カメラ登録時の最大ユーザー数を超過した場合
  - サポートされていないビデオ形式：登録プロセス中、サポートされていないビデオ形式で接続が試行された場合
  - 認証5回失敗：カメラ登録時、ID/PWの認証に5回失敗したため、カメラのアカウントがロックされた場合
- Decoderが初期値で設定された場合、IP設定によってカメラが接続できない場合がありますので先ずネットワーク環境を設定してから登録をしてください。  
ネットワーク設定についての詳細は、「ネットワーク設定」をご参照ください。(24ページ)

#### 自動検索でネットワークカメラの登録をするには



1. <カメラ 登録>欄で<オート>ボタンをクリックします。
2. 接続されているネットワークカメラを検索します。
  - 既に登録したカメラは、一覧内で青色にマークされます。
  - 再度検索をするかカメラIPが未だDHCPサーバーによってIP割り当てが行われず同一のIPが継続して維持される場合(例:192.168.1.100)、<再検出>ボタンを押して割り当てられたかを確認します。万一、それでも同じ場合はIPアドレスを選択して直接割り当てることができます。
3. リストに列挙されたカメラを選択して現在の映像をプレビューでご確認ください。
  - ONVFで検索したカメラはプレビューができません。
4. 接続したいネットワークカメラの隣のチェックボックスをチェックします。
  - リスト内のネットワークカメラをすべて選択し、<ID>及び<パスワード>を一度にすべて入力できます。
  - リスト上のヘッダー部分をクリックすると検索リストを再度並び替えます。
- 管理者以外のユーザーアカウントでカメラを登録すると、カメラ機能に制限がかかる場合があります。
  - カメラWebビューアでカメラのID/パスワードを変更するとき、カメラが既にDecoderに登録されている場合、Decoderに登録されているカメラID/パスワード情報も変更する必要があります。
5. <ID/パスワード>ボタンをクリックし、選択したネットワークカメラの<ID>及び<パスワード>を入力します。
6. <接続テスト>ボタンを押し、カメラと接続します。
7. <登録>を押し、選択したカメラを登録します。

# メニュー設定

## 手でネットワークを追加したり登録する場合



1. <カメラ登録>メニューで<手動>ボタンをクリックします。
2. 手動追加ウィンドウが表示されます。
3. カメラを接続するために使用するチャンネルとプロトコルを選択します。  
入力項目は、選択したプロトコルによって異なる場合があります。
- SAMSUNG : Hanwha Techwinが採用している内部ネットワークプロトコルに準拠します。
- ONVIF : カメラがONVIFプロトコルをサポートしていることを意味します。リスト上に名前が無いカメラを接続するときは、<ONVIF>を選択します。
- RTSP : リアルタイムストリーミング伝送は「Real Time Streaming Protocol(RTSP)」プロトコルのRFC2326文書に準拠しています。
4. <SAMSUNG>プロトコルを選択した場合、表示される各項目を選択します。
- モデル : カメラのモデルを選択します。
  - Samsungネットワークカメラ/エンコーダー : カメラ/エンコーダーがHanwha Techwin SUNAPI, SVNPプロトコルをサポートしていることを意味します。カメラリストに表示されていないカメラを接続するとき、Samsung ネットワークカメラ/エンコーダーを選択します。
    - ただし、リストに表示されている場合、カメラの正しいモデル名を選択する必要があります。一部のカメラではサポートしないモデルがあります。
    - 下記のモデルは販売終了した製品で登録する場合、カメラの機能で一部制限及びエラーがでる場合があります。Samsungプロトコルを登録することをお勧めします。
      - SNB-2000, SNB-3000, SNC-B2315, SNC-B2331, SNC-B2335, SNC-B5368, SNC-B5395, SNC-B5399, SNC-B5400, SNC-1300, SND-460V, SND-560, SND-3080, SND-3080C, SND-3080CF, SND-3080F, SND-3081, SNP-3301, SNP-3301H, SNP-3350, SNP-3370, SNP-3370TH, SNP-3750, SNB-3080, SNP-3430
- アドレスタイプ : カメラのアドレスタイプを選択します。
  - アドレスタイプは、選択した製品モデルによって異なる場合があります。
  - 静的 (IPv4) / 静的 (IPv6) : カメラのIPアドレスを手動で入力するために使用します。
  - Wisenet DDNS : これが有効なのは、カメラがWisenet DDNS (ddns.hanwha-security.com) サーバーで登録されている場合のみです。DDNS ID用の登録ドメインを入力します。
    - 例) <https://www.samsungipolis.com/srnb5000> : IPOLIS DDNSに「srnb5000」を入力します。
- それぞれのカメラがサポートするDDNS仕様は、カメラのユーザーマニュアルで確認できます。
- URL : URLアドレス入力に使用します。
  - WNSカメラURLを登録する際、デバイスポートを6541に変更しなければなりません。

- IPアドレス : カメラのIPアドレスを入力します。
  - デバイスポート : カメラのデバイスポートを入力します。
  - HTTPポート : カメラのHTTPポートを入力します。
  - ID : 登録したいカメラのIDを入力します。
  - パスワード : 登録するカメラのパスワードを入力します。
5. プロトコル用に<ONVIF>又は<RTSP>を選択し、表示された各欄に情報を入力します。
- ONVIFアドレス / RTSP URL : ONVIF又はRTSPをサポートしているカメラのRTSPアクセスアドレスを入力します。アクセスするRTSPアドレスの詳細については、それぞれのカメラのユーザーマニュアルを参照してください。
  - ID : ONVIF/RTSPプロトコル経由でアクセスするためのIDを入力します。
  - パスワード : ONVIF/RTSPプロトコル経由でアクセスするためのパスワードを入力します。
  - モード : RTSP接続モードでネットワークカメラにサポートされているモードを選択します。
    - TCP : ネットワークカメラの接続がRTP over TCPで動作します。
    - UDP : ネットワークカメラの接続がRTP over UDPで動作します。
    - HTTP : ネットワークカメラの接続がRTP over TCP(HTTP)で動作します。
    - HTTPS : ネットワークカメラの接続がRTP over TCP(HTTPS)で動作します。

## カメラ登録のエラー詳細を確認する場合

カメラ登録に失敗した場合、失敗の理由が表示されます。

- **不明なエラーにより、接続に失敗しました。** : 不明なステータスが原因でカメラの登録が失敗した場合、このメッセージが表示されます。
- **カメラアカウントのロックが原因で、アクセスに失敗しました。** : カメラアカウントのログインで間違えたID/パスワードを6回入力してロックされた場合、このメッセージが表示されます。30秒後にもう一度ログインしてみてください。同じメッセージが表示された場合、外部から誰がお使いのカメラアカウントにアクセスしようとしたかを確認する必要があります。
- **接続に成功しました。** : カメラの接続に成功した場合、このメッセージが表示されます。
- **モデル情報が間違っています。正しいモデル情報を入力してください。** : カメラを登録するために入力したモデル情報が間違っている場合、このメッセージが表示されます。
- **認証に失敗しました。** : カメラを登録するために入力したID又はパスワードが間違っている場合、このメッセージが表示されます。
- **同時ユーザー数の超過が原因で、接続に失敗しました。** : 同時ユーザー数が上限を超えた場合、このメッセージが表示されます。
- **HTTPポート情報が正しくないため、接続に失敗しました。** : カメラのHTTPポート番号が違う場合、このメッセージが表示されます。
- **接続に失敗しました。不明な接続ステータスです。** : 不明なエラーが原因でカメラの接続が失敗した場合、このメッセージが表示されます。
- **ユーザーモデル変更** : 新規カメラを登録するとき、ユーザーがそのモデルを<Samsungネットワークカメラ/エンコーダー>に設定した場合、デバイスの初期設定に応じて名前が付きま。自動登録に失敗した場合、ユーザーは登録するカメラの名前を変更できます。

## カメラプロファイルを編集するには

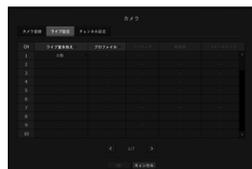
カメラを初めて追加するとき、初期設定のプロファイルであるH.264、H.265及びMJPEGの順番で一時的に追加されます。

プロファイルを変更する場合は、「ライブ設定」から直接変更することができます。(23ページ)

- デコーダーでは、分割画面に応じてプロファイルが異なります。「ライブ設定>ライブ置き換え」を参照してください。(23ページ)
- 単一カメラでは、1種類のプロファイルを送信する際、フレームは保証されますが、複数のプロファイルを送信すると、転送されるフレームは保証されません。カメラは複数のデバイスに接続されているため、30fpsで2種類のプロファイルを送信すると、設定を30fpsにしていた場合であっても、20fpsのみで送信されます。

## ライブ設定

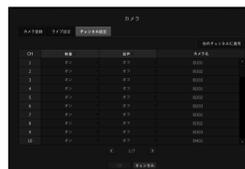
ネットワークカメラのライブ転送設定を変更できます。



- **ライブ置き換え**：ライブプロファイル設定モードを選択します。(HDMI、VGAの手法を適用)  
＜手動＞を選択すると、プロファイル設定項目が有効になり、設定を手動で変更できます。
  - オート：分割モードを使用する場合、ライブモニタリングプロファイルでは、登録時に作成したLive4NVRプロファイル(デフォルト：H.264 800\*600 30fps)が表示されます；単一/2/3/4分割モードでは、自動的に2つ目のプロファイルが選択されます。
  - 手動：ライブモニタリングは、登録したカメラプロファイルからユーザーが選択したプロファイルを使って実行されます。
- !** ■ ライブ置き換え項目で、＜手動入力＞を選択すると、分割画面のため、解像度が高すぎることを示すアイコン(⊠)が表示される場合があります。
- **プロファイル**：接続したカメラ設定の映像プロファイルを選択することができます。
  - **コーデック**：選択した録画プロファイルのコーデックを表示します。
  - **解像度**：選択したプロファイルの解像度を表示します。
  - **フレームレート**：選択したプロファイルのフレームレートを表示します。

## チャンネル設定

各チャンネルの映像設定を設定できます。



- チャンネルに適用する：＜チャンネルに適用する＞を選択した場合、「チャンネルに適用する」確認ウィンドウが表示されます。  
設定を適用するチャンネルを選択した後、＜OK＞をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。
- ビデオ
  - ＜オン/オフ＞：選択したチャンネルのカメラ映像をON/OFFすることができます。
  - ＜Covert1＞：選択したチャンネルの映像以外の情報が表示されます。
  - ＜Covert2＞：選択したチャンネルのすべての情報の代わりに、空の画面が表示されます。
- ☑ ■ チャンネルを＜Covert1＞又は＜Covert2＞モードに設定した場合、チャンネルの音声は聞こえません。
- オーディオ
  - ＜オン＞に設定した場合、ライブ画面上でチャンネルの音声のON/OFFを切り替えることができます。
  - ＜オフ＞を設定すると、オーディオはライブ画面から出力されません。
- カメラ名：カメラ名を入力します。
  - スペースを含め、最大15文字を入力できます。

# メニュー設定

## モニター

モニターに表示する情報と出力方式を設定できます。

### モニター設定

表示情報、切替時間及び出力方法など、モニター出力関連の設定内容を設定できます。



- 画面：モニター画面上にチェックされた項目のみが表示されます。
- 映像出力：<クローン> または <エキスバンド> モードのいずれかを選択して映像を出力し、<HDMI> および <VGA> の解像度を設定します。
  - クローンモード：メインモニター (HDMI) およびサブモニター (VGA) の解像度を同一に設定できます。
    - コピーモードで動作するとき、解像度が1080p以上の値に設定されていると、サブモニターに画像は表示されません。
  - エクスバンドモード：メインモニター (HDMI) およびサブモニター (VGA) の解像度を別々に設定できます。
- BNC Output：ここでは、BNC出力を選択するかどうかを設定します。(NTSC/PALを選択できます)
  - 拡張モードを設定すると、ライブランチャーからVGAレイアウトとレイアウトシーケンス機能を使用することができます。
  - BNC出力で<ON>を選択して、ライブランチャーからBNCチャンネルとチャンネルシーケンス機能を使用しなければなりません。\*[ランチャー設定](#)を参照してください。(15ページ)
- !** ■ コピーして、拡張モードまたはBNC出力を選択する場合、HDMIを経由した特定解像度のビデオ出力は制限され、<HDMI>と表示されます。

## ネットワーク設定

ユーザーはネットワークを設定して、ネットワークカメラを接続することができます。

### インタフェース

ネットワーク接続ルート及びプロトコルを設定できます。

### ネットワーク接続の設定

ネットワークのプロトコル及び環境を設定します。



- ネットワーク (カメラ)：カメラ接続に推奨するポート。カメラからの画像を受信します。
- ネットワーク (カメラ) 設定
  - IP型：ネットワーク接続タイプを選択します。
  - IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS
  - <静的>：IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを手動で入力できます。
  - <DHCP>：IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの各値が自動的に設定されます。
- <DHCP>のDNS値を入力できるのは、<手動入力>が選択されているときのみです。



# 付録

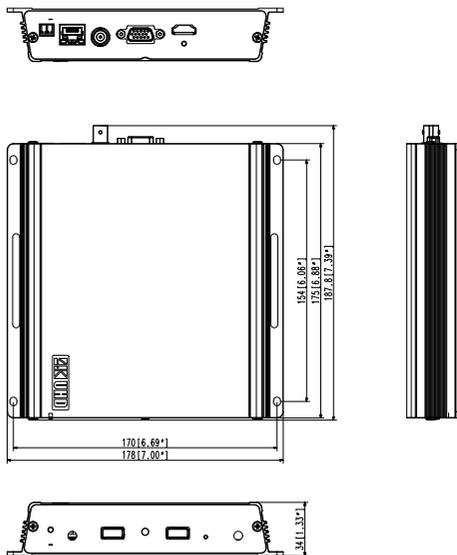
## 製品仕様

項目		詳細	
HW	オペレーティングシステム	組み込み Linux	
	出力	HDMI	1ch (最大4K)
		VGA	1ea (最大1080p)
		解像度	1ch, 704x480 (30fps), 704x576 (25fps)
	外部	イーサネット	1ea (10/100/1000BASE-T)
		USB	USB 2.0 2ea
		オーディオ出力	1出力
	環境	動作温度	+0°C ~ +40°C (+32°F ~ +104°F)
		湿度	20% - 85% RH
	電力関連	電源	DC12V, PoE(IEEE802.3af)
		消費電力	最大8.4W(12VDC)、最大8.4W(PoE)
	機械関連	色/材質	ダークグレー/金属
		寸法 (WxHxD)	178 x 34 x 187.8mm (7.00" x 1.33" x 7.39")
質量		Approx. 0.68Kg	

項目		詳細	
S/W	映像	コーデック	H.265/H.264/MJPEG
		ネットワーク性能	200Mbps
		最大チャンネル	49ch (HDMI : 32ch, VGA : 16ch, CVBS : 1ch)
		最大デコード性能	120fps@8MP、最大12MP
		分割/モニター	クローンモード 1/4/6/8/9/13/16/25/36(32)/2V/3V 拡張モード (HDMI) 1/4/6/8/9/13/16/25/36(32)/2V/3V (VGA) 1/4/6/8/9/13/16/2V/3V
		レイアウト	最大20
	音声	コーデック	G.711/G.726/AAC
	管理		ローカルGUI
	時間設定		NTP/手動

## 外観図

単位：mm(インチ)



## デフォルト設定

システムをリセットするには、「システム管理」>「設定管理」>「初期化」に移動して<初期化>ボタンを押します。工場出荷時の初期設定には復元します。

- 初期化すると言語が英語になりますので注意してください。
- 初期の管理者IDは「admin」です。初回ログイン時にパスワードを設定する必要があります。
- 個人情報や安全に保護し、情報窃盗の被害を防ぐため、3か月に1回パスワードを変更してください。パスワードの管理ミスによるセキュリティ及びその他の問題は、ユーザー側の責任となりますことを御了承ください。

カテゴリ	詳細		工場出荷時の初期設定	
システム	日付/時間/言語	システム時間	日付	YYYY-MM-DD
			時間	24時間
			時間帯	GMT
			時刻同期	オフ
			DST	オフ
	言語	英語		
ユーザー	管理者	ID	管理者	
	権限設定	自動ログアウト	3分	
		IDの手動入力	オフ	
	システム管理	システム情報	デバイス名	SPD-150
ログ情報	システムログ	タイプ	全体	
デバイス	カメラ	カメラ登録	オフ	
		ライブ設定	ライブ設定	オフ
			ビデオ	オン
	オーディオ		オフ	
	チャンネル設定	カメラ名	カメラ 01 - カメラ 64	
		モニター	モニター	すべて
ビデオ出力			クローン	
BNC Output	オフ			
ネットワーク	インターフェース	ネットワーク	IP型	静的IP
			ネットワーク(カメラ)	192.168.1.200
			サブネットマスク	255.255.255.0
			ゲートウェイ	192.168.1.1
			DNS	168.126.63.1

# 付録

## トラブルシューティング

症状	対策
ライブビデオは遅く、切断されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラまたはネットワーク環境で設定した複数データ送信用のフレーム番号は、実際の送信率によって異なります。マウスを右クリックし、&lt;チャンネル情報&gt;を選択し、チャンネルごとの上りフレーム数と実際の再生フレーム数を確認します。原則、カメラを登録するときにLive4NVRプロファイルが作成され、レートはH.264 800*600psに設定されます。</li> <li>ビデオ映像の速度が落ちたり、中断し続ける状況が続く場合、ネットワーク環境またはカメラの状況をご確認ください。</li> </ul>
電源がオンにならず、前面パネル上のインジケータがまったく動作しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムの電源が正しく接続されているか確認してください。</li> <li>入力されている電源の電圧を確認してください。</li> <li>ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。</li> </ul>
映像信号は入力されている状態が、一部のチャンネルで映像が出力しなくて黒い画面しか表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カメラに正しく電源が供給されているか確認してください。</li> <li>カメラのWeb Viewerに接続して映像出力を確認してください。</li> <li>ネットワークポートが正しく接続され、ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。</li> <li>ギガビットをサポートするハブに変更することで解決する場合があります。</li> </ul>
画面上にロゴ画像が繰り返し表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>この症状はメインボード問題があるか、関連するソフトウェアが破損している可能性があります。販売店にお問い合わせください。</li> </ul>
接続しているモニターで画面が出力されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルがモニターと正しく接続しているかどうか確認してください。</li> <li>Decoder出力 (HDMI又はVGA) をサポートしていないモニターもあります。(出力解像度: VGA: 1280*720、1280*1024、1920*1080、HDMI: 720P、1080P、1440P、2160P) モニターの解像度を確認してください。</li> <li>4K映像の場合、使用中のケーブルがHDMI 2.0をサポートしているかどうかを確認します。</li> </ul>
カメラを接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。</li> <li>ネットワークインターフェイスを設定するかどうかを確認します。</li> <li>カメラのIP設定を確認します。</li> <li>PINGテストを試してください。</li> <li>製品の近くと同じIPを使用する別のデバイスがないか確認してください。</li> </ul>

症状	対策
ライブ画面が明るすぎます。または暗すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録されたカメラの映像設定を確認してください。</li> </ul>
“日付/時刻のリセット要”というメッセージが画面に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>このメッセージが表示されるのは、内蔵時計の時刻設定に問題があるか、時計自体にエラーがある場合です。詳細については販売店にお問い合わせください。</li> </ul>
外部ストレージデバイス(USBメモリースティック)をデコーダーに接続後、結果が表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部ストレージデバイスの対応機種リストを参照して、Decoderが接続したデバイスをサポートしているかどうかを確認してください。対応機種リストについては、Decoderをお買い求めになった販売店までお問い合わせください。</li> </ul>
パスワードを忘れました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>背面右側にあるRESETボタンを10秒間長押しします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>No. 5'各部の名称と機能 (背面)'を参照してください。(7ページ)</li> </ul> </li> </ul>

## OPEN SOURCE LICENSE REPORT ON THE PRODUCT

The software included in this product contains copyrighted software that is licensed under the GPL, LGPL, MPL 1.1, BSD 2-Clause License, BSD 3-Clause License, MIT License, libxml2 License, Apache 2.0 License, zlib/libpng License, Boost Software License, Curl License, Microsoft Public License, Code Project Open 1.02 License, JPEG License, RSA MD4 or MD5 Message-Digest Algorithm License, PHP License 3.01, OpenSSL Combined License, PCRE 5 License, NTP License, Codelgniter License, GLUT for Win32 License, ISC License, Brian Gladman Alternate License. You may obtain the complete Corresponding Source code from us for a period of three years after our last shipment of this product by sending email to help.octv@hanwha.com

If you want to obtain the complete Corresponding Source code in the physical medium such as CD-ROM, the cost of physically performing source distribution might be charged.

For more details about Open Source, refer to the CD or Hanwha Website.

- **GPL Software:** bornc++ 1.03a, busybox 1.23.2, dibbler 0.8.4, Linux Kernel 3.10.y, ethtool-3.11, lsscsi-0.28, memtester 4.0.5, mi-tool-1.8.11, mid-utils-1.5.1, smartmontools-6.4, udhcp-0.9.8, wpa-suplicant-0.7.3, xfsprogs-3.1.11, gdb-7.8.1, msmtmp-1.4.21, parted-3.1, wget-1.14
- **LGPL Software:** ffmpeg-2.4.3, glibc 2.16, Live555, Qt 4.7.2
- **MPL 1.1:** npapi-sdk
- **BSD 2-Clause License:** FreeBSD
- **BSD 3-Clause License:** minipnp-1.5-ppc, net-smp-5.6.2.1, ppp-2.4.5, jquery.sha256, jsbn, libjpeg-turbo, lighttpd, msinttypes, requires, spherall++, sprintf 0.7, System-Verilog-Packet-Library, Text OpenGL Extension Wrangler Library 1.7.0
- **MIT License:** aptechcmv2, avopendous, cJSON, cJSON-Dave Gamble, dynatree, javascript-ipv6, jqGrid, JQuery UI, jquery-form, jquery-hashchange, jquery-json, jquery-numeric, jquery-throttle-debounce 1.1.1, JS-Browser-Driver, moon9, noty, Raphael JavaScript Library, wildflower 1.3 Beta
- **libxml2 License:** libxml2 2.7.7
- **Apache 2.0 License:** RLLib
- **zlib/libpng License:** cximage, HM NIS Edit, Nullsoft Scriptable Install System 2.46, PNG reference library, tinyxml 2.6.2, zlib
- **Boost Software License:** boost 1.57.0
- **Curl License:** curl 7.47.0
- **Microsoft Public License:** Minima, Text Designer Outline Text Library
- **Code Project Open 1.02 License:** CFFPSQLite - C++ Wrapper for SQLite, A reusable, high performance, socket server class - Part3
- **JPEG License:** libjpeg-8b
- **RSA MD4 or MD5 Message-Digest Algorithm License:** JavaScript MD5 1.1, sipxhtml
- **PHP License 3.01:** PHP-2.1.0, PHP 5.6.14
- **OpenSSL Combined License:** OpenSSL 1.0.2k
- **PCRE 5 License:** pcre 8.31
- **NTP License:** ntp 4.2.8p4
- **Codelgniter License:** Codelgniter
- **GLUT for Win32 License:** GLUT for Win32
- **ISC License:** dhcp 4.3-2rc2
- **Brian Gladman Alternate License:** AES with the VIA ACE
- **Acknowledgement:** This product includes modified version of ffmpeg, Live555, Qt 4.7.2, and npapi-sdk



Hanwha Techwin では環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため多くの措置を講じています。  
エコマークは、環境に優しい製品を創り出す Hanwha Techwin の意志を表すとともに、それらの製品が欧州 RoHS 指令に準拠していることを示しています。





---

**Head Office**

6, Pangyo-ro 319 beon-gil, Bundang-gu, Seongnam-si,  
Gyeonggi-do, 463-400 Rep. of KOREA  
Tel : +82.70.7147.8753 Fax : +82.31.8018.3740  
www.hanwha-security.com

---

**Hanwha Techwin America**

500 Frank W. Burr Blvd. Suite 43 Teaneck, NJ 07666  
Toll Free +1.877.213.1222 Direct +1.201.325.6920  
Fax +1.201.373.0124  
www.hanwha-security.com

---

**Hanwha Techwin Europe**

Heriot House, Heriot Road, Chertsey, Surrey, KT16 9DT, United Kingdom  
Tel +44.1932.57.8100 Fax +44.1932.57.8101  
www.hanwha-security.eu

---



PT01-005014A